

岡山東 週報



2019-20年度 国際ロータリーテーマ

ROTARY CONNECTS THE WORLD

ロータリーは世界をつなぐ

国際ロータリー会長

マーク・ダニエル・マローニー

2019-20年度 岡山東RC 活動方針

『～把手共行～、ともに楽しいと実感できるロータリーを!』

岡山東RC 会長 藤岡千秋

会長	藤岡千秋	幹事	貝原明宏
会長 エレクト	諸國眞太郎	副幹事	松本崇
		S.A.A.	大西直規
副会長	佐々木篤	副S.A.A.	菅野正則

Rotary



岡山東ロータリークラブ

国際ロータリー 第2690地区 第9グループ

事務所 / 〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 木材会館4F

TEL. 086-222-9590 FAX. 086-224-4288

http://www.okayama-higashi-rc.jp/ E-mail oke@ok6rc.jp

例会場 ●岡山プラザホテル 〒703-8256 岡山市中区浜2-3-12 TEL.086-272-1201

例会日 ●木曜日 12:30~13:30

2019.9.26 第2441例会

No.2277

▶本日のプログラム

「新たな共生社会の実現に向けて」

山下貴司 会員

10月3日のプログラム

「お祝行事」

「米山月間にちなんで」

大河原喬 米山記念奨学会委員長

米山記念奨学生 王思佳 様

例会報告 (9/19)

出席報告

会員数 102名(内出席免除者14名)

出席者 85名(内出席免除者出席9名)

出席率 87.63%(前々回訂正後出席率95.96%)

ビジター 0名

お食事

【秋刀魚焼き定食】秋刀魚の塩焼き, 茄子の押し煮, 香物2種(キャベツ, きゅうり), 御飯, ミニ豚汁, 日本茶

会長挨拶

皆様、こんにちは。今日は、非常に嬉しいことと、我々はこれからどうやっていくかと思うこととをガバナー事務所から連絡を受けております。伝えられたことには、限りなくロータリアンの減少が進んでおり、日本は約9万人で11万5,000人を目指しておりますけれども、世界では35,681クラブあり、会員数の平均が押し並べて33人くらい、非常にロータリアンが減少しており、地区からもRIからも増強を強く言われております。規定審議会でもロータリアンの資格6項目を撤廃し、高潔な職業人の要件も撤廃してロータリアンを増やす方向に出ております。

その中で当クラブは、内山出席委員長の発表にもありましたけれども、今までのデータから地区67クラブの中で2位と僅差での3位の出席率です。当クラブは内山出席委員長の声掛けで90%以上の出席率の維持ができており、環境が変わっている中での出席率は誇りであり、こんなに嬉しいことはありません。私はこれからも維持していきたいと思っております。

20年程前、ロータリーの奉仕について“I serve”や“We serve”ということが議論されました。“I serve”は個人奉仕、“We serve”は団体奉仕ですけれど、かつての議論のようにロータリーを難しく考えないで、ロータリーは親睦なんだ、入会したことで“I serve”なんだ、あとは親睦しかないということ肝に銘じて、皆で一つところに集まって楽しくワイワイやることから広がる奉仕というもの、それが“We serve”と思います。要はクラブが一丸になって楽しい、これが当クラブの他に類のないクラブであるように持っていきたい、そう私は思っております。

私は、本年度『把手共行』みんなで手を取りあって楽しいと実感できるロータリーを目標に掲げており

ます。私はそれ以外ない、例会に出席することでロータリー活動の原点となる親睦が図れ、それが友愛につながって、その中から奉仕の理想に繋がっていくのがロータリーの原点であると考えております。例会にこれだけ多くの方が集まってもらって、有意義な時間を過ごせて、皆が友愛を深める中で外に向かっての奉仕ができる、親睦が当クラブを強いものにしていくと思っております。どうかロータリーをしっかりと楽しんでいただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告

1. RI 第2690地区古瀬俱之ガバナーから九州北部豪雨災害復旧支援義援金の依頼がきておりますので、募金箱を回させていただきます。
2. 他クラブの週報を回覧いたします。

委員会報告

●社会奉仕委員会 奥野一三 副委員長

いよいよ今週の週末、「大規模災害被災地児童 つながるプロジェクト事業 PART2 リフレッシュキャンプ」が行われます。この事業に19名の会員のご参加をいただいておりますが、ご参加の皆様は本日説明会を行いますので、例会終了後この例会場の前方にお集まり下さい。

(なお、台風接近のため事業は延期になりました。)

9月19日のプログラム

「岡山リベッツの挑戦」

株式会社岡山リベッツ 代表取締役 羽場誠 様

岡山リベッツは昨年10月に開幕した卓球のTリーグに初年度から参戦しています。「リベッツ」の名前は、岡山県特産のジーンズにポケットを繋いでいる釦のようなものから名前をつけさせていただきました。「リベッツ」には「注目を集める」という意味もあります。全国から注目を集める存在になれればと思っています。

皆様は卓球にどのような思いを抱いていらっしゃるでしょうか。私は学生時代に卓球部をしていて、「暗い」と言われていた記憶ですが、今や男女8チームあり、昔より華やかなイメージも出てきていると思います。

ところで岡山は日本卓球伝来の地です。旧姓第六高等学校の言語学教授として明治32年に来岡したエドワード・カントレットが寄宿していた三友寺に寄宿し、山田耕筈が岡山にいたとき、義兄にあたるエドワード・カントレットにピンポンの指導を受けたと記述しております。このように日本で卓球が最初に伝わったのは岡山県であり、岡山県は卓球の聖地であり、また卓球が強いところです。小学生は2017年以後全国ホープス選抜大会で3年連続して岡山県が優勝しており、中学生でも日本と中国が五分五分の実力であり、岡山の卓球は世界でも強いほうに入ります。

私がりベッツを設立した経緯を申し上げますと、私がITベンチャー企業を立ち上げたころ、2017年3月30日に一般社団法人Tリーグが設立され、松下浩二チェアマンから面談の機会がありました。その結果、岡山と卓球に同時に貢献できる、何らかの形で岡山と卓球に恩返しをしたいと思い、岡山リベッツを始めました。

私のミッションは、卓球で岡山を元気にすることです。やるべきビジョンとして10年で岡山からオリンピックメダリストを出すこと、卓球で魅せること、卓球の普及を通じて岡山の健康寿命を長くすることに貢献したいと思っています。

岡山県の卓球人口は実際の競技者含め競技人口は2万人から4万人、これを10万人にしたい、途方もな



いことと思われるかも知れませんが、岡山で部活動の部員がどの部活も減っている中で卓球だけは伸びていて、部員が2位まで上がっている、これには卓球がリオデジャネイロオリンピックで活躍して、日本が強いことを知っていただけたからだと思っています。

なぜTリーグに参入したかを、都市の規模との関係でいいますと、コンパクトな経営が地方都市にぴったりのです。野球やサッカーは選手で50人規模、スタッフを含めると100人規模になりますが、卓球では選手は20人以下で参入でき、地方都市でスポンサーが参加しやすくなるのに合っています。また、世界一を目指せます。今から野球で世界一になるにはヤンキースより強くならなければならない、しかしこれは垣根が低くありません。卓球は準メジャースポーツでプロ組織ができあがっていなかったのが、世界一を目指せます。岡山リベッツは2022年までにTリーグで優勝し、2026年までには世界のクラブチームの中に参入したいと考えます。

Tリーグは男女合わせて8チームでレベルの高い選手が集まっています。世界ランキング50位以内に岡山リベッツでも6人の選手がいます。岡山のホームゲーム会場は岡山武道館です。古いと思われる施設ですが、意外と華やかでお越しいただいた方にも臨場感があると言っています。2018-19年度の結果は4チーム中2位で終了しプレーオフファイナルに進出しましたが、張本智和・水谷隼を擁する東京に敗れて惜しくも2位でしたが、その日は全国のスポーツニュースに取り上げられ、目標の一段を上れたと思っています。世界のクラブチームを岡山に誕生させ、岡山を世界中に知ってもらうことが目標です。

卓球の普及のためには、小スペースで、老若男女を問わず、個人競技であることの特色を活かして、ロードサイドに卓球スポットを、岡山市南区西市と倉敷市四十瀬においています。岡山店の会員は9か月で900人くらいになっており、卓球場利用のお客様も600人から700人くらいになっています。

現状の課題としてはスポンサーの確保と観客動員です。観客動員は現状の1,100人から、岡山武道館を満席にする1,500人にしたいです。是非岡山リベッツを育てたいというお気持ちをいただけたら、またそのような気持ちをお持ちの方を紹介していただけたらと考えます。





同好会～趣味を通してクラブの仲間と親睦を深める
岡山東ロータリークラブ ゴルフ同好会



2019-20年度年間優勝賞品・金のパター



第2回ゴルフ同好会ベストグロス賞を
更井同好会会長から授与される藤岡会長